

新潟市議会報告は、新潟市民の皆様にも市政の取り組みや議会活動をわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この市政報告紙は政務活動費で発行しています。

### 旧万代小学校跡地利用について方針決定

約4,000m<sup>2</sup>に東地域保健福祉センターを移転整備  
残り約9,300m<sup>2</sup>は公募型プロポーザルで民間事業者へ売却

#### 公募の趣旨

新潟市はこれまで、区ビジョン基本方針(中央区の目指す姿を示した基本方針)、や区ビジョンまちづくり計画(基本方針の実現に向けた具体的な取り組み計画)を踏まえ、跡地利用の検討を行い、周辺地域の地域コミュニティ協議会等、地域住民の皆さんと意見交換を重ねてきました。そこで、この度実施される公募型プロポーザルでは、これらの事をはじめ、跡地の立地特性や希少性を考慮し、次に挙げる各事項に十分留意した事業計画の提出を求め、審査することとなっています。



旧万代小学校跡地	民間事業者への売却物件	市有地 東地域保健福祉センター
市が利用する市有地を除く民間事業者へ売却する物件	<b>売却物件</b> 9,318.10m <sup>2</sup>	<b>予定価格</b> 726,811,100円 1m <sup>2</sup> 当り単価 78,000円

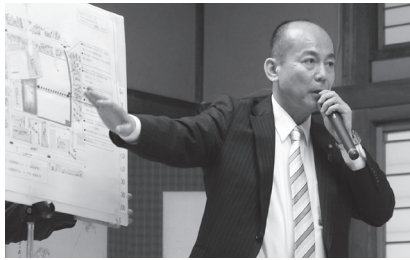
#### 旧万代小学校跡地の開発に求められる事項

##### 「賑わいのまち」の実現に向けて

- 中心市街地の活性化
- 優良な住まいづくり
- 住む人・訪れる人のための都心づくり

##### 「人にやさしい暮らしのまち」の実現に向けて

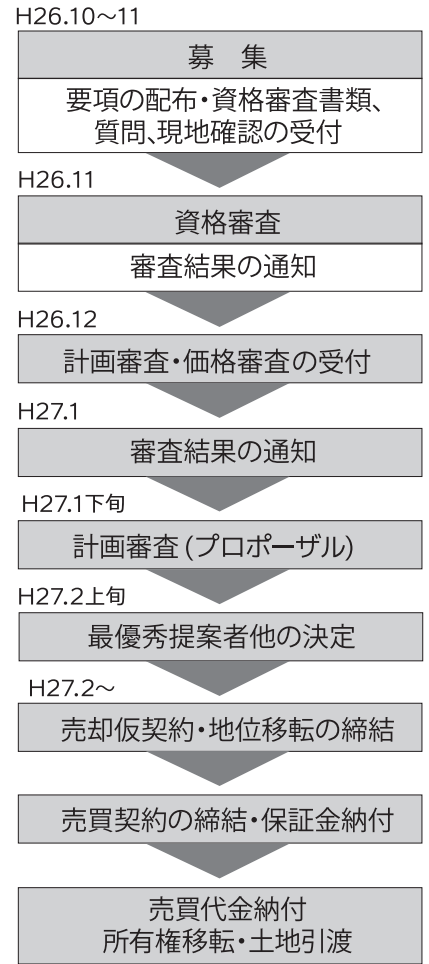
- 災害予防対策の充実
- 安全な移動空間の確保
- 高齢者への支援体制の充実
- 良好な住環境づくり



● 市政報告会で皆さんに説明(H26.4)

市民の皆さんとともに取り組んできた「旧万代小学校跡地問題」です。かけがえのないこの場所が、地域の皆さんの暮らしに資する施設へと生まれ変わるよう、厳正な審査を求め責任を果たして参ります。

#### 主な募集手続きの流れ



### 深谷の提案!

これまで、整備の必要性を提案してきた災害時の対応マニュアルですが、その指針の制定に向け、準備が進んでいるので、現時点での概要を紹介致します。

#### 大災害発生! その時議会は?

東日本大震災発生時、被災した自治体では直ちに災害対策本部が設置され避難誘導や減災対策等を行い、また発災後の復旧計画の作成や復旧活動に当たりました。

しかし、非常時における災害対策本部との関わりや、議会内での災害対応策について、あらかじめ想定し、取り決めていた地方議会はほとんどなく、本市にあっても同様でした。

そこで、災害等の非常事態が発生し、市が「災害対策本部」を立ち上げた際に、市議会として互いに情報を共有し合い、活動する体制を整えることができるようにするため災害対応マニュアルを作っておくことが必要ではないかと訴えてきたのです。

### 大災害発生時に議会として迅速に行動するため市議会災害時対応マニュアルを準備中

#### 新潟市議会災害時対応指針(案) 災害時対応の基本姿勢

- 各議員の収集した情報を記録し、その中の課題に対して、要因を考察し、復興計画等に反映すること。
- 当局が災害対応に専念し、応急活動を円滑、迅速に実施できるよう、必要な協力、支援を行うこと。
- 国、県、政党、関係公共機関等に適時適切な要望活動を行い、市の復旧・復興の取り組みをバックアップすること。
- 広域的な視野に立って、関係団体や他の議会と、積極的に連携すること。

#### 市民が主体となる市政を目指して

新年号では、まちづくり・危機管理・交通政策・まちなか開発、について取り上げました。いずれも新潟市が直面する重要な問題でありながら、市民の皆様から合格点を頂けていない政策でもあります。私も市議会議員として任期四年、継続して取り組んできましたが、そこに暮らす方々が本当に必要としているものは何かを探し、思いや願いを形に表すという市政の原点を見据え、市民とともにより良い新潟市を築いて行くことが大切であると痛感しています。これからも次世代に責任のもてる市政を目指して参ります。

#### 新潟市議会議員

公式サイト <http://fukaya-s.net>

発行 / 深谷しげのぶ事務所

〒950-8061 新潟市中央区西堀通4番町259-58 西堀青藍館ビル305号 TEL 025-378-0177 FAX 025-378-0178

自宅 〒950-0088 新潟市中央区万代6-6-4トラパレス101号

新潟市議会議員【中央区】 深谷しげのぶ ● 総務常任委員会 ● 公共交通調査特別委員会 ● 会派に属さない議員

# 深谷しげのぶ



次世代へ  
未来への責任。

# 古町再開発事業と市役所機能の一部を移転する計画について 新潟市は大和跡地再開発に介入せず、民活の支援に徹するべき

事業計画を明確にした上で慎重に検討し議会へ方向性を示すと述べながら情報提供も意見交換もなく独善的に移転計画を進める篠田市長



## 質問

## 答弁 篠田市長

### 質問を行った背景

平成21年、大和デパートの突然の撤退発表を受け、市長は「礼を欠く対応であり、とても許せるものではない」と厳しく批判した。

平成22年の閉店当初、大和側は跡地の売却を模索したが話がまとまらないため、近隣の地権者と再開発準備組合を組織し、国や市から補助を受けられる再開発事業によるビル建設を目指すこととした。

この計画は、近隣11地権者が持つ、計6,000㎡の敷地に9階建ての複合ビルを建設、物販・オフィス・マンションなどの整備を想定し、再開発事業として都市計

画が決定されれば、事業費百数十億円のうち30～40億円が補助される。

市は、「再開発事業はあくまでも民間投資によって行われる市街地の活性化事業でなければならない」との原則に則り、オブザーバーとして見守る方針。ところが平成26年12月、市は複合ビルへの大学招致を働きかけていたこと、および市役所機能の移転を計画していることを発表した。しかし再開発準備組合によれば、全く預かり知らぬところで大学の招致や、了承どころか相談すら受けていない状況で市役所機能の移転計画が発表された。また自前で駐車場整備をせず、西堀地下駐車場を活用するよう求められているとの話もある。

再開発事業は、まず施行者の責任で都市計画決定に足るよう仕上げるのが求められる。なぜ監督する立場の新潟市が事態に先行して関わるのか。

市長は平成26年12月、庁舎の状況を議会に資料提出する必要がある、これを土台に意見交換、情報交換したいと述べている。また平成26年6月には、9月議会で市役所機能の移転について議会の理解を得たいとしているが、なぜ議会への情報提供が全くされないまま移転計画を進めているのか。

まず施行者が事業や資金の計画を作ることが基本。その土台ができた判断したときに、議会に相談し、判断する。

市役所機能の移転は、建て替えなど他の選択肢と比較検討してきた。利便性、都市軸の明確化などで、まちなかへの移転は効果的。大和跡地は地元要望への対応として候補のひとつだが、事業の確度が担保された段階で改めて意見交換する。



●市役所分館



●市役所白山浦庁舎



## ローサ、プラーカの二の舞は見過ごせない

この議会答弁はでたらめと言わざるを得ません。実際はテナントの誘致活動、市役所機能の一部移転を含め、新潟市が主導権を握るかたちで事業の都市計画決定に向け、準備を進めています。

しかし、事業補助30～40億円の他に、市役所機能の移転となれば更に40～50億円の支出は免れられず、到底市民の理解が得られるとは思われません。庁舎の老朽対策など当面は耐震補強で対応し、大和跡地の再開発は賑わい創出の民間支援策に留めるべきです。また本市は過去の歴史においても、民間と行政が関わった事業、つまり市が余計な口出しをした事業で、良い結果を得たことがありません。西堀ローサしかり、プラーカしかりであります。経済的にも精神的にもどれだけ市民に負担を掛けているのか、市長にはよく考えて頂きたいものです。このような事業の進め方はBRTの問題とも根幹が繋がっているように思えてなりません。

## 市長選挙で示された市民の意志に従ってBRT計画の白紙撤回を求める請願 提出されるも議会は不採決

昨年の12月議会において「地域経済を振興し、くらし・福祉・教育の充実をめざす新潟市実行委員会」の皆さんから、BRT計画の白紙撤回を求める請願が提出されました。私は紹介議員に名を連ね、願意の実現を目指しましたが、結果は賛成少数による不採決でした。

BRT問題に関してはこれまで通り、市民にとってプラスになる都市交通を構築できるよう働きかけていきます。

### 請願書

新潟市は連節バスの購入を決め、BRT計画を進めようとしています。しかしながら多くの市民は未だにBRT計画に反対、あるいは疑問を持っています。

先ごろ実施された新潟市長選挙では、BRT計画が最大の争点となり、BRT計画推進を掲げた篠田市長の得票率は36パーセント、BRT計画の白紙撤回を掲げた吉田候補とBRT計画中止を掲げた齋藤候補の得票は合わせて64パーセントに達しました。また新潟日報紙のアンケートでは、BRT賛成はわずか10パーセントでした。BRT計画に反対する市民の明確な意思が示されたことは疑いようがありません。

これに対し篠田市長は「これは市民の誤解から来ていて、理解していただくよう努める」と述べ、計画は続行するとしています。

私たちは昨年、連節バス購入反対の署名に取り組み、1万6,000筆を超える署名を新潟市に提出しました。しながら昨年12月の議会では連節バスの購入が議決されました。BRT計画についても新潟交通と協定を結びました。しかしこれは市民の意思に反するものと考えます。

改めてBRT計画を断念するよう「新潟市長選挙で示された市民の意思に従って、BRT計画を白紙撤回すること」を請願します。



## 深谷しげのぶ市政報告会を開催します!

深谷しげのぶ・市政報告会を開催します。テーマは「BRT連節バス問題」、「旧万代小学校跡地再開発」、「H27新年度予算」などを予定しています。市政に対する皆様の思い、また活発なご意見をお聞かせたいと思います。ぜひご参加ください。

2月

日時：平成27年2月8日(日) 18:00より  
会場：中央区 東新潟コミュニティセンター 208会議室  
新潟市中央区東万代町9-1(新潟市万代市民会館2F)

3月

日時：平成27年3月7日(土) 18:00より  
会場：中央区 東新潟コミュニティセンター 208会議室  
新潟市中央区東万代町9-1(新潟市万代市民会館2F)